

王林さんが発信、東通村の魅力を首都圏へ！

2月15日、東奥日報主催の下北半島魅力発信事業において、タレントの王林さんが下北半島のPRのため東通村を訪れました。

アタカにて寒立馬と初対面の王林さんは「想像していたよりも大きくてビックリ！目が優しくてとっても可愛いですね」と大満足の笑顔。その後漁港にて漁師飯ゴッコ汁をいただきました。ゴッコとはホテイウオのことで、アラと共に長ネギで煮込んだ鍋は出汁がきいて最高の味わい！冷えた体に染み渡ります。

「下北の美味しいやあったかい魅力を皆さんに伝えます！」と地元漁師と鍋を囲んで語った王林さんでした。



東京都北区浮間小・中学校にて地まきホタテの給食を提供！

東通村と浮間小学校との交流事業の一環で、寒立米(ほっかりん)と野牛産地まきホタテを使用した給食が提供されました。小学校では「寒立米と野牛産地まきホタテのカレー」を、中学校では「寒立米を使った菜の花炊き込みご飯と野牛産地まきホタテのバターソテー」がそれぞれ振る舞われ、大粒のホタテに「こんなの見たことない！また食べたい」と、児童たちから歓声があがるほどでした。給食の後にはかんだちくんも登場し、浮間小学校の児童たちと触れ合いました。

本年度は交流事業も20周年目となります。これからも様々な形でより良い交流を推進していきたいと思ひます。



浮間小学校の給食ではカレーに地まきホタテを使っていただきました！
どんな感想が聞けるか、畑中村長とかんだちくんはドキドキしていました♪



浮間中学校の給食では地まきホタテのボイルが贅沢に2つも配られていました！
皆さん美味しそうに口いっぱい頬張っていました♪

